

このたび日総研におきまして、下記の通りセミナーの開催を予定しています。関連する皆様方にご案内頂きますようお願いいたします。このようなFAXでのご案内によりご迷惑をお掛けする場合は、ご面倒ですが貴施設のFAX番号をご記入の上、下記FAXまでご返送ください。

実地指導・監査・  
介護サービス情報の公表に対応



# 「法令遵守」「リスクヘッジ」につなげる 介護記録のスタッフ指導と 改善のポイント

「記録に時間がかかりすぎる」「忙しくて記録を書く時間がない」  
「記録の種類が多すぎる」などの課題解決策を指南!

2009年5月よりすべての介護施設や事業所に「法令遵守責任者」の選任が必要になり、法令遵守の行動規範が求められる中で、その証となるものが介護記録と言えるでしょう。では、現場の管理者・リーダー、そして法令遵守責任者は、そのことを踏まえた介護記録の書き方についてスタッフ指導を十分に行えているでしょうか?本セミナーでは、介護現場における「法令遵守(コンプライアンス)」に加え「リスクヘッジ(危険回避)」につなげる介護記録のスタッフへの教育・指導と、介護記録をベースとした業務の改善策について指南します。

目からウロコ!介護記録の精度を高める  
効果的なスタッフ指導のポイントが分かる!

**伊藤亜記氏** 株式会社ねこの手 代表取締役  
介護コンサルタント

介護福祉士、社会福祉主事、レクリエーションインストラクター、学習療法士1級。老人保健施設やケアハウスなどで介護相談員および施設長代行を務めた後、「株式会社ねこの手」を設立。長年の介護経験を生かし介護コンサルタントとして活動する傍ら、介護記録の研修講師として全国を駆け巡っている。主な著書に『添削式介護記録の書き方』(ひかりのくに)がある。

## プログラム

- 1.「介護記録の目的・意義・重要性和書き方の技術」を指導する!**
  - 1)「目的」…それを理解しているか否かによる差
  - 2)「介護記録の要素とルール」…何をどう書くべきか?
  - 3)「連携・情報共有」…介護業務のバトン
  - 4)「気づき」…ムダ、不要、不適切な記録
  - 5)「特変なし」は本当か?
- 2.「法令遵守」を指導する!**  
～情報公表・実地指導で求められる介護記録
  - 1)「介護の証と根拠」…正確性・客観性・具体性
  - 2)「ケアプランとの連動性」…費用算定の根拠
  - 3)「個別性」…ニーズに沿った個別ケアの実践
  - 4)「ケアの適切性」…ケアの継続性や統一性の確保
  - 5)「利用者の権利」…意向・同意・開示
- 3.「リスクヘッジ」を指導する!**  
～施設・事業所・利用者・自分を守る介護記録
  - 1)「記録の訂正」…あらぬ疑いを持たれないために
  - 2)「記録の漏れ」…ケアの質低下・クレーム・裁判敗訴の要因
  - 3)「表現の工夫」…開示できない記録とは
  - 4)「事故防止」…事故につながる記録とは
  - 5)「ケアの振り返り」…自身の態度・言動の記録
- 4.介護記録をベースとしたスーパービジョンと業務改善策**
  - 1)記録の管理とスーパーバイザーとしての役割
  - 2)記録の精度とスタッフの成長度合いを測る
  - 3)事故・ヒヤリハット報告書の書かせ方
  - 4)記録の効率化・スリム化
  - 5)記録によるケアの検証と品質保持

**大阪** 10年7月24日(土) 10:00~16:00

**田村駒ビル** 大阪市中央区安土町3-3-9  
地下鉄御堂筋線「本町駅」より徒歩3分

**参加料** 18,000円(税込) (昼食代は含まれません。昼食は各自でお持ちください。)  
※日総研の会員制・定期刊行物の年きめ購読者は3,000円off。  
※参加いただくには事前のお申し込みが必要です。※最少催行人数17人。

会員制・定期刊行物 専門別の24雑誌で!

現場の実践と業務スキルで指導!

## 介護人財育成 リーダーシップ

隔月刊誌

3-4月号特集  
事例で学ぶ改善の視点!  
「重度化」「看取り」の  
ケア体制



近刊予告 4月

## 認知症高齢者 BPSD 52例 記録表現集

行動・心理症状52事例の  
記録の書き方と家族への説明の仕方  
監修 加藤伸司 認知症介護研究・研修  
仙台センター センター長 予価 2,500円(税込)

▶詳細はホームページで [www.nissoken.com](http://www.nissoken.com) ●お申し込み受付後、通常1週間以内に参加証をお送りしています。参加証が届かない場合にはお問い合わせください。

<b>FAX申込書</b> 「法令遵守」 「リスクヘッジ」につなげる 介護記録のスタッフ指導と 改善のポイント	▼受取確認者氏名を必ずフルネームでお書きください		送付住所 TEL( ) - <input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 勤務先 〒 -	施設宛請求書 必要・不要 送付先 自宅・勤務先 12113-1
	ふりがな 氏名 (受取確認者) 生年月日 西暦 19 年 月 日	▼日総研の会員制・定期刊行物をご購読の方はお客様コードをご記入ください お客様コード 役職・部署	勤務先名	
<input type="checkbox"/> 大阪 7/24				

FAX ☎ 0120-052690 大阪 ☎ (06) 6262-3215

QRコードで携帯から  
すぐ申し込みます

